



AIR断震 倶楽部通信 53

世界初! 空気ので家を浮かす!
揺れない家が家族を守る

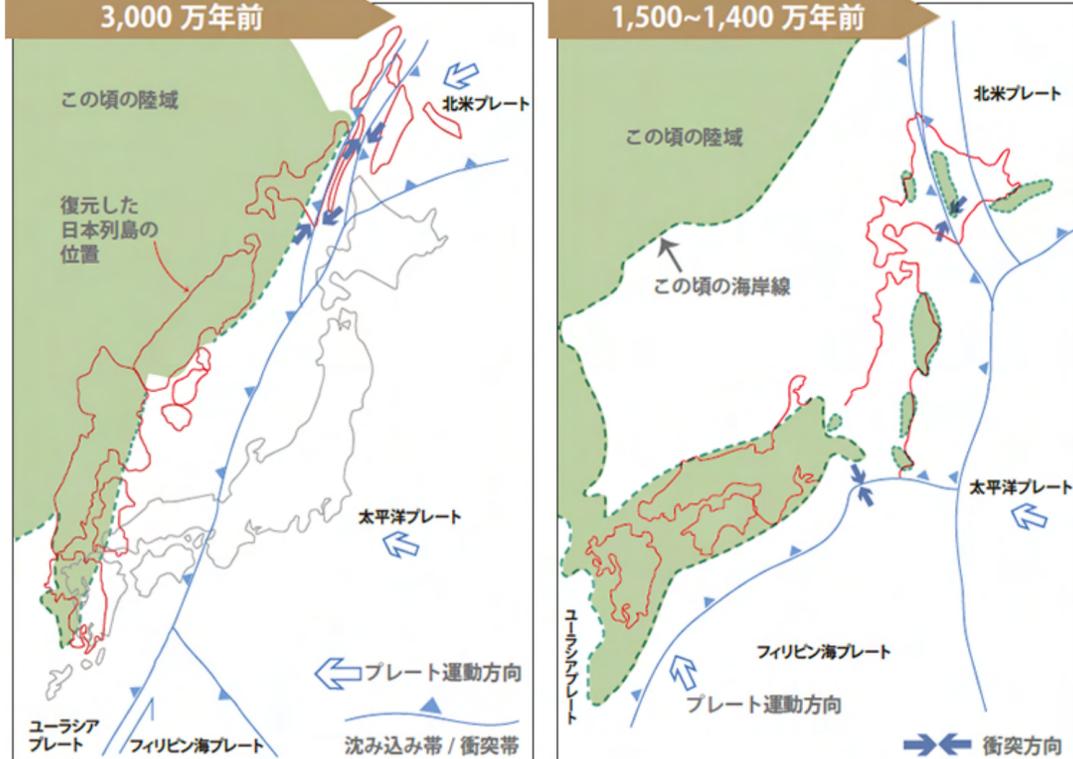


「究極の地震対策住宅」の株式会社三誠AIR断震システムです。
株式会社三誠AIR断震システムは、株式会社三誠のグループ会社です。
両社の担当者と名刺交換させていただいた方々に配信しております。
※このメールはテキストメールでもご覧になれますが、HTML形式で配信しております。

日本にはなぜ地震が多いのか？ 列島誕生の歴史から解き明かす

★複雑に重なり合う4つのプレートの動きが 日本列島を産み出し、たくさんの地震を起こす

まず2つの地図を見ていただきましょう。左が約3000万年前のアジア大陸東岸と現在の日本近辺の地図です。右が1500～1400万年前の同地域の地図です。

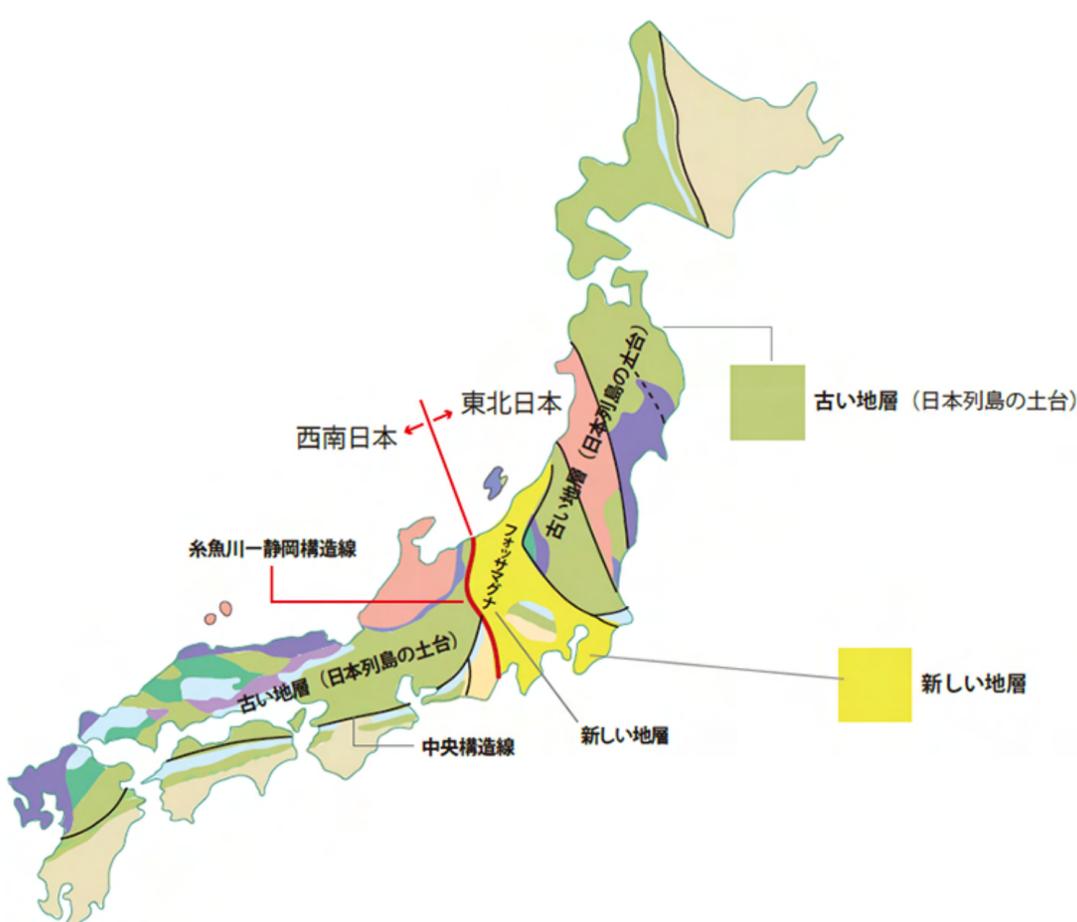


左の地図の陸地の東端に赤の線で示しているのが、後に日本列島となる地盤の大元。3000万年前にはまだ中国とくっついていたのです。太平洋プレートは大陸に近いところで北米プレートとフィリピン海プレートに沈み込み、フィリピン海プレートもユーラシアプレートに沈み込んでいました。この複雑な動きにより、約2500万年前に、「日本列島の素」は大陸から切り離され、後に西日本になる部分は時計回りに回転しながら移動しました。右の地図では、九州になる地域は朝鮮半島と陸続きです。東日本は反時計回りに回転しながら移動しましたが、右の地図では、東日本と本州はまだ現在に近い姿にはなっていません。この複雑なプレートの動きが、日本列島を生み出し、数多くの地震の原因となっているのです。

★西日本と東日本は日本海を別々に動き フォッサマグナによって奇跡的に結びつけられた

次は現在の日本の地層を示した地図です。色の違いは地質の違いを示したのですが、ここでは無視して下さい。赤線で示された「糸魚川-静岡構造線」の右側の黄色く塗られた部分がフォッサマグナで、大地溝帯とも呼ばれます。地層を調べるとフォッサマグナの両側が古い地層で、フォッサマグナはそれより新しい地層になっています。

ユーラシア大陸からバラバラに切り離されて移動し、再び結合しながら現在の姿になっていますが、まだその動きは止まっていません。日本にある約2000の活断層も、プレートの動きにより上下左右にずれたもので、この動きも地震の原因になっています。太平洋プレートの現在の動きは年間約8cm東南東の方向からフィリピン海プレートに沈み込んでいます。100年後には8m、100万年後には80kmも移動する計算になります。これから先数千万年後には、日本列島はまったく違った形になっていることは間違いありません。



詳しくはHPへ▶

地震が起きたその時、家を浮上させいのちと家財を守る！

「エアー断震システム」

地震の揺れを感知すると瞬時にセンサーが作動。エアータンクから空気を送り込んで家を浮かせ、揺れを建物に伝えづらくします。

震度7の揺れを約1/30に軽減

詳しくはHPへ▶



▲国立研究開発法人 防災科学研究所での実証実験の様子

震度7を想定した住宅の浮上実験をご覧ください。

「AIR断震倶楽部通信」
バックナンバーはこちらから▶

バックナンバー▶

「エアー断震システム」
詳しい資料請求はこちらまで▶

資料請求▶

「エアー断震システム」
の効果を体感してみませんか。
関東に4カ所体験できる展示場があります。

展示会場▶

☆☆私たちは、地震災害から一人でも多くの命を守るのに本気です!!
この思いにご賛同いただける方がいらっしゃいましたら、是非ご紹介ください。
最後までお読みいただき、ありがとうございました。

《送信者》

株式会社 三誠AIR断震システム
〒104-0033 東京都中央区新川1-6-1 2 M&Sビル3階
TEL: 03-3551-0272 FAX: 03-3551-0273
info@airdanshin.co.jp https://airdanshin.co.jp

※このメールの内容に関するご意見・ご質問はこちら